広報

ひろば たいせつ

９月号目次

Ｐ２～３ … 第10回田んぼアートフェスティバル
Ｐ４～５ … たいせつなここがポイント
Ｐ６～７… たいせつＨＯＴニュース
Ｐ８ …… 共済課からのお知らせ
Ｐ９ …… ＪＡグループ通信
Ｐ10 …… 監事会からのご報告・たいせつのあゆみ
生産資材課からのお知らせ
法律相談日のご案内

2018
9月号
Vol.187

JA たいせつ

田んぼアート巨大押し寿司完成！

ホームページＵＲＬ　http://www.jataisetu.or.jp/

フェスティバル開催！

8月18日（土）午後1時、多少の雨が降る曇り空ではありましたが、鷹栖中学校吹奏楽部のオープニングセレモニーの演奏により記念すべき「第10回田んぼアートフェスティバル」が開会しました。

総合司会には、ラジオのパーソナリティや各イベントなどで活躍されている旭川市出身の「林ゆかり」さんをお招きし、会場を盛り上げて頂きました。

オープニングセレモニーの後メインステージ前では旭川市を中心に活動をされているダンスグループ、「レイアロハフラスタジオ旭川」により色鮮やかな衣装を身にまとい、真夏を思わせるようなフラダンスが披露され、来場者から熱い拍手をいただきました。

また検査場前の会場ではメインイベントの一つ、毎年恒例の「巨大押し寿司アートづくり」が行われました。

60区画に分かれた「田んぼアート2018」のデザインを基に緑色には「野沢菜」、白色には「卵白」、黄色には「玉子そぼろ」、紫色には「きざみ昆布」、赤色には「紅しょうが」、橙色は「山ごぼう」を使用して、原図を見ながら親子や友人同士で協力しながらパーツを作りあげた後、出来上がった押し寿司を組み合わせ、たて210cm×よこ72cmの巨大押し寿司アートが完成しました。協力して作った押し寿司に会場の皆さんからは拍手が沸きあがり、参加者は完成した押し寿司を囲んで記念撮影をし、その後、押し寿司を切り分けられ、会場の皆さんに振る舞われました。

また今回は、子供たち向けの企画として100馬力を超える大型トラクターと小型トラクターを展示し、運転席に乗って記念撮影が行われ、普段見ることのない大きな機械に驚いていました。さらには毎年大好評の「動物ふれあい体験コーナー」も設置し、可愛いミニブタやウサギやポニーたちに直接ふれることができ、子供たちは笑顔いっぱいに喜んでいました。

午後3時からは東鷹栖農民連盟による「○×クイズ」が行われ、田んぼアートに関する問題などが出題され、参加者の皆さんは一問一問考えながら回答し、正解が発表されるとため息や歓声が沸きあがり、最後に残った方には賞品が渡されました。また、「豊作祈願の餅まき大会」が、「子供の部」と「大人の部」に分かれて実施され、大勢の参加者が集まり、ミス北海道米もステージ上に上がり、約2俵分のもち米を使用した紅白もちやお菓子などが盛大にまかれました。

もちまき終了後には、3組のステージライブが行われ、札幌を中心に活動されているモノマネアーティストの「何ン田研二」さんと「穂ン田あやや」さんをお招きし、モノマネパフォーマンスの披露により会場を盛り上げていただきました。

また、2組目には太田プロエンタテイメント学院札幌校出身の2人組お笑いコンビ「36号線」に出演いただき、様々な芸能人のモノマネを駆使したお笑いステージを披露していただきました。

3組目には、太田プロダクション所属で、石沢勤さんと旭川市出身のかねきよ勝則さんによる2人組お笑いコンビ「新宿カウボーイ」のお笑いステージショーが行われ、会場を大いに盛り上げていただきました。

ステージライブ終了後は実力派団体「朱雀」と「遨～すさび～」の2組による迫力ある「よさこいソーラン踊り」も披露され、日没頃には、永山屯山（みやま）太鼓の音に合わせて巨大な行燈が登場しました。日没と同時に会場もきれいにライトアップされ、田んぼアートの動物たちが色鮮やかに写しだされ、来場者たちを魅了していました。

イベントの最後となる毎年恒例のたいせつ大抽選会では豪華景品が用意され、景品を楽しみにステージ前にはたくさんの人たちが集まっていました。

最後には花火が打ち上げられましたが、機材のトラブルにより一部が打ち上げ不能となり、ご来場された皆様には大変ご迷惑をお掛けいたしましたことをお詫び申し上げます。

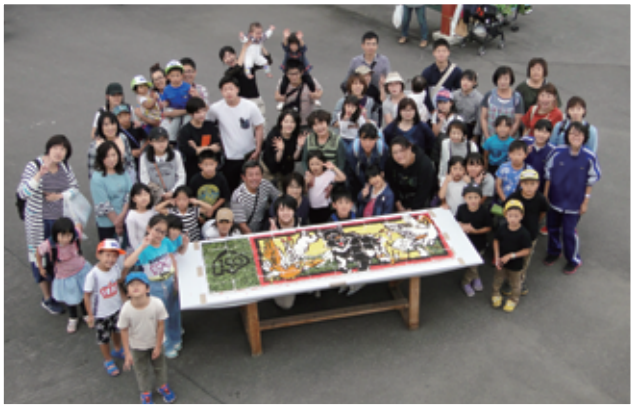
今年も多くの方々のご協力により盛大に田んぼートフェスティバルを開催することができましたことを心より感謝とお礼申し上げます。

また、たくさんの皆さんにご来場頂きまして誠にありがとうございました。

第10回田んぼアート

鷹栖中学校吹奏楽部

穂ン田あやや



押し寿司アート完成

36 号線

新宿カウボーイ

屯山太鼓

朱雀

遨～すさび～

何ン田研二

たいせつなここがポイント

ＪＡたいせつ営農部　農産販売課

刈り取り時期が遅れると、品質や製品歩留まりの低下につながります。本年は、土壌の乾き具合をこまめに確認するとともに、収穫前に下見検査などで玄米の状況を十分に確認し、高品質米が出荷できるよう適期刈取りに努めましょう。

水稲編

◆適期収穫に向けて！

1　籾の熟色での判断

成熟期に近づくと、籾の黄化は晴天の日で１日あたり３%程度進みます。遅れ穂を除いた籾の 90 ～ 95%が黄化した時期が成熟期（刈取時期）です。

2　玄米サンプルによる判定

整粒歩合 80%以上を目標として収穫日を予測します。整粒 60%以上の稲の場合、晴れの日で１日当り２%程度の青米が整粒になると判断します。ほ場の生育差が大きい場合には、１回だけの判定では困難なので再度玄米判定を行います。また、判定の結果刈取適期が１週間以上先の場合も再度玄米判定をして下さい。

◆次年度に向けてのほ場準備

この時期からの準備が次年度の品質や収量に大きく影響します。本年度の反省を踏まえ、次年度に向けてほ場の準備を始めましょう。

1　適正な稲わら処理

排水不良田では水田外に搬出し、堆肥化して水田に還元しましょう。また、稲わらのほ場焼却に伴う煙は、環境汚染や道路交通障害、健康被害の要因となるばかりか、産地の評価を低下させる大きな原因となります。焼却は絶対に行わず、堆肥等に活用しましょう。

2　稲わらの鋤き込み

鋤き込みは透排水の良好な水田のみとし、実施する場合は収穫後なるべく早い時期に行いましょう。鋤き込む深さは極浅くし（５㎝程度）、土と良く混和して下さい。水田内に稲わらを放置しておくと、水田の乾燥不良や土壌還元（ワキ）の発生原因となり、初期茎数が十分に確保できなくなってしまいます。また、ケイ酸の吸収が阻害されるなど食味低下の原因にもなります。

3　透排水の改善

収穫後、ほ場内に滞水があると来年の春作業が遅れるとともに、肥料の効きも悪くなりますので、溝切りや心破を実施して透排水性改善を図りましょう。また、苗床や水田の土壌診断を実施しましょう。

畑作編

本年当地区においてコムギなまぐさ黒穂病の発生が確認されました。当病害はこれまで大規模な病害の発生が確認されていなかったため、防除対策が確立されておらず、病害の確認は出穂後でなければ確認が難しいなど対応が難しい病害です。来季以降、発生とまん延を防止するために基本技術の励行を徹底しましょう。

1　小 麦

◆秋播き小麦のは種準備

①は種前に心土破砕・サブソイラ等の排水対策を実施し、は種適期を逃さないようにしましょう。
②連作障害や雑草の繁茂により収量に大きな影響を与えることから、耕起前に必ず雑草処理を行いましょう。

除草剤名	使用量（10 a）	使用時期	安全使用基準	対象雑草
ラウンドアップ／マックスロード	200 ～ 500ml	耕起前まで	３回以内	イネ科雑草・広葉雑草
タッチダウン IQ	500 ～ 750ml	耕起３日以前	１回	
クサトリキング	250 ～ 500ml	耕起前まで（雑草丈 30㎝以内）	３回以内	

③秋まき小麦作付予定ほ場では、pH を測定確認して土壌改良をしましょう。目標 pH は 5.5 ～ 6.0 です。

◆春小麦後の秋播きは種について

春まき小麦の野良生えが懸念される為、プラウ耕により種子を埋没させるか、ロータリー耕を行って発芽させた後にもう一度ロータリー耕を行って処理するなど、収穫後の処理を確実に行いましょう。

なまぐさ黒穂病の発生にご注意を！

～なまぐさ黒穂病とは？～

小麦の子実内に黒褐色の胞子が充満し生臭い異臭を発生させる病害で、ここ数年で発生地域・件数ともに急速に拡大しています。収穫作業などで健全な子実に胞子が付着すると、異臭麦となって品質を著しく低下させることから、民間流通麦として取り扱うことができなくなります。

1．発病穂・子実の特徴

発病穂は出穂期以降に健全穂と比較して草丈がやや短くなる傾向があり、ひとつの株の中に健全穂と発病穂が混在します。乳熟期頃から子房が黒色の粉状物（カビの胞子）で満たされて子実が肥大化し、小穂の並びが乱れて穂の外観がいびつになります。また、健全子実の細長い形状と比較して丸みを帯びた球状になります。

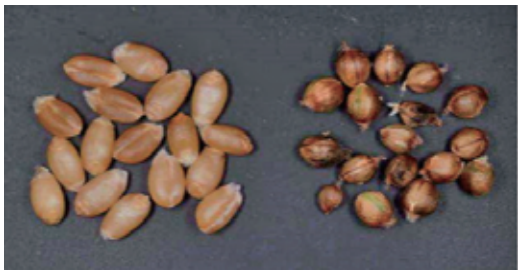
写真1　草丈の違い

罹病穂（黄矢印）と健全な穂（黒矢印）は株内でも混在している。また、罹病穂は健全な穂よりも丈が低い

写真2　穂外観の違い

健全な穂　発病した穂

写真3　子実外観の違い



↑健全子実　　↑発病子実

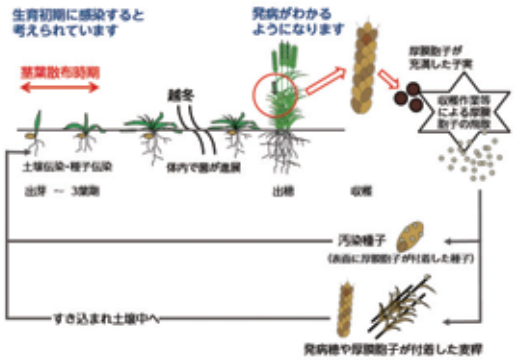
2．伝染経路

なまぐさ黒穂病の感染経路は「土壌伝染」と「種子伝染」の2パターンがあると考えられており、発芽後の比較的早い段階（1～3葉期頃）に感染するとされています。その後は穂に症状が出るまで外観から感染を判断することは難しく、同一株内のすべての穂が発病するとも限りません。

3．発病後の対応

発病が確認されたほ場については廃耕が基本となり、「周辺に胞子を飛散させない・被害を拡散させない」という観点から、麦稈はほ場外に持ち出さずに深く反転してすき込み、使用した機械の洗浄を徹底します。すき込んだ麦が野良ばえし、発病すると出穂後新たに原膜胞子が作られるため、出穂前までにすき込むか、除草剤などで処理を行うことが重要となります。また、土壌感染による再発防止のため、数年間は他作物への輪作が必須となります。

≪感染経路のイメージ図≫



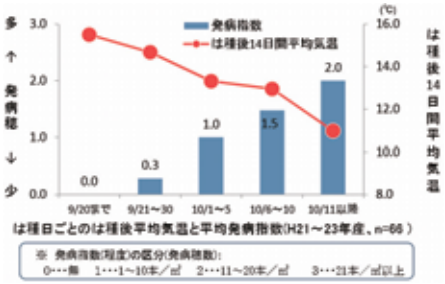
4．発生を抑えるための対策

①は種時の土壌水分が高く、地温 15 度以下の比較的低い温度で感染しやすくなります。遅まきであるほど発生の危険性が高まりますので、適期は種を実施しましょう。

②排水対策の実施や土壌 pH の改良を実施するとともに、深播きを避けて出芽を停滞させないことも重要です。

③小麦の連作が発生の大きな要因となっている可能性があります。計画的な輪作を実施しましょう。

④種子伝染の発生を抑えるために種子消毒の実施を検討しましょう。



播種日が遅いほど発病指数は高い傾向にあります。遅い種は、気温も低くなり、感染しやすい。

→罹病のリスクが高まります

≪なまぐさ黒穂病に対する主な登録薬剤≫

薬剤名	使用量	使用時期	使用方法
ベンレートＴコート	乾燥種子重量の 0.5%	播種前	種子粉衣
ベフラン液剤 25	1,000 ～ 2,000 倍液	播種前	10 ～ 30 分間 種子浸漬
チルト乳剤 25	750 倍 60 ～ 150ℓ /10 a	1 ～ 3 葉期（根雪前まで）	茎葉散布

2　大　豆

◆収穫作業に向けて

まもなく大豆の収穫作業が始まります。子実や茎水分の状況を把握し、適期収穫に努めましょう。

◇刈取り時期の目安（子実水分 20%以下・茎水分 40%以下から収穫）

①熟莢 80 ～ 90%で収穫しましょう。但し汚粒原因のわい化病株、雑草は必ず抜き取りましょう。

②収穫時期が遅れると裂皮、色あせをおこし、品質低下の原因となりますので、適期収穫を心がけましょう。

7月27日（金）　JAたいせつ・上川ＲＴ合同での労働安全衛生研修会開催

職員の労働災害や疾病防止の目的で設置している労働安全衛生委員会では毎年その目的にあわせた研修会を開催しています。

平成２６年度より上川ライスターミナル（株）と合同で開催しており、本年度は７月２７日（金）業務終了後に役職員８２名、上川ライスターミナル社員１１名が集まり、松原代表理事組合長（兼上川ＲＴ代表取締役社長）の開会挨拶に引き続き、北農健保組合保健指導課の髙橋真実保健師を講師に迎え、「からだの健康はお口から」と題して講演が行われました。

いまや３０代の約８割が歯周病になっており、糖尿病や動脈硬化などと深い関係性を持ち、喫煙は歯周病を促進させ、更には認知症も発症するとされ、それらを予防するための毎食後の正しい歯磨きや定期的な歯科検診の話に大変身近なこととして耳を傾けていました。

講演後、今年度採用の総務課・荒田さん、農産販売課・今西君と上川ＲＴ総務部の塚田さんらを先頭に参加者全員で安全宣言を唱和しました。

これからＪＡも上川ＲＴも繁忙期に向かうため労働災害等の防止に努めるようにと山原専務からの挨拶があり閉会となりました。

7月27日（金）　たいせつ農協東鷹栖年金友の会日帰り旅行

たいせつ農協東鷹栖年金友の会親睦会（日帰り旅行）を７月２７日（金）に北竜方面へ３６名の参加により開催いたしました。

昨年は気温が低く寒い中の旅行でしたが、今年は３０度を超える晴天の出発となりました。

秩父別のローズガーデン、北竜のひまわりの里を鑑賞し、楽しみであった昼食をジンギスカンの本場、松尾ジンギスカンで美味しくいただきました。

昼食で満腹になりましたが、午後からの観光先のさくらんぼ園に到着すると、皆さん急に別腹となり、食べ頃のさくらんぼをたくさん食べることが出来ました。

来年も楽しい日帰り旅行が出来るように計画しますので、多くの方の参加をお待ちしております。

８月４日（土）　年金友の会合同パークゴルフ大会

たいせつ農協年金友の会では、東鷹栖・鷹栖両地区の合同行事としてパークゴルフ大会を８月４日（土）、鷹栖町丸山パークゴルフ場にて６５名の参加により開催しました。

当日は朝から晴天で気温も高く絶好のパークゴルフ日和となり、中村年金友の会会長、松原代表理事組合長からの激励を受け大会が始まりました。

コースコンディションも最高で序盤から快音を響かせていた為、事務局はホールインワン賞が足りなくなるのではと、あわただしくなりました。参加者皆さんの日頃の練習の成果もあり、１１名の方がホールイワンを出す、素晴らしいショットが多い大会となりました。

スコアも６５名中１２名が１００を切り、１点で大きく順位が変動する１打を争う素晴らしい成績となりました。

大会結果は次のとおりです。（スコアはハンデを含んでいます）

男性の部

優　勝　　浦　　諭さん（スコア９４）

準優勝　　遠藤　公幸さん（スコア９６）

３　位　　大石　光男さん（スコア９６）

女性の部

優　勝　　佐藤　愛子さん（スコア９６）

準優勝　　中林とよ子さん（スコア９８）

３　位　　高畑登美子さん（スコア１００）

８月10日（金）　田んぼアートヒエ取り作業

ＪＡたいせつ女性部では、田んぼアートの２回目のヒエ取り作業を女性部員１１名の参加により行いました。

朝９時からはじまりヒエが多かったため２時間ほどかかりました。じめじめとした暑さの中、部員同士協力し熱心に作業していただいたおかげで田んぼアートが綺麗に見られるようになりました。

ご協力いただいた皆様大変お疲れ様でした。

共済課からのお知らせ

平成30年10月より自動車事故サービス対応について変わります!!

ご契約者のサポートはJAが行い、事故対応・示談交渉は

JA共済連旭川自動車損害調査サービスセンターのスタッフが行います。

ご　契　約　者　様

事故受付・現場急行・面談等

JA たいせつ

JA 担当部署
【事故受付・現場急行】

連　携

旭川損害調査 SC

損　害　調　査

示　談　交　渉

車両・対物事故

人身事故事案

事故の相手方等

初期対応～共済金支払

円満な事故解決は

私たちにお任せください

２４時間　３６５日　事故受付とアドバイス

事故等の場合には

フリーダイヤル **0120-258-931**

レッカー・ロードサービスの場合には

フリーダイヤル **0120-063-931**

JAグループ通信

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。
JA北海道大会決議事項の実践やその時々のトピックスなど、組合員の皆様に定期的にお伝えします。
各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

JA北海道中央会

11月開催の第29回JA北海道大会に向けて組合員の声を反映させるため、9月末を期限とする組織討議を実施します。
原案には、前回大会で掲げたJAグループの将来ビジョン「北海道550万人と共に創る『力強い農業』と『豊かな魅力ある農村』の実現」に向けて、農業所得増大やサポーター550万人づくりの継続実施などを盛り込むほか、重要性を増す「協同組合の価値と実践」を新たに加えております。
また、各JAにおける組織討議に加えて、組合員の皆さんから直接ご意見を提出いただけるよう、意見提出様式を公開しておりますので、ご提案を賜りますようお願い申し上げます。

JA北海道信連

8月に、JAとうや湖等の協力を頂き、小学生の親子を対象とした『旬食カレッジin洞爺湖』を開催しました。じゃがいもの収穫体験、地元産じゃがいもやミニトマト等を使った料理教室、JAによる講演等を実施し、道産野菜のおいしさや栽培のこだわりなど、食や農の大切さを伝えることができました。
参加者には、「食に対する関心が高まり勉強になった」「また参加したい」など好評でした。

ホクレン

北海道産牛肉を炭火焼きで楽しんでもらう「第2回北海道牛肉まつりinさっぽろ」が7月29日から8月1日の4日間、札幌パークホテル駐車場特設会場で開かれました。このうち2日目の30日には「北海道産牛肉応援PR大使」でグルメタレントのアンジェラ佐藤さんが登場。
北海道庁とホクレンの若手職員計5人を相手に「大食い競争」に挑戦し、会場から大きな歓声が上がりました。

JA共済連北海道

8月3日に札幌・共済ホールにて「全道LA・スマサポ大会」が開催され、平成29年度普及活動で優秀な成績を収められたLA22名と、スマイルサポーター15名が登壇し表彰されました。
JA共済では、これからも「3Q訪問活動」と「あんしんチェック(保障点検活動)」の実践を通じて組合員・地域利用者の信頼と期待に応え、「安心」と「満足」の提供に努めてまいります。

JA北海道厚生連

組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。
年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。
ホームページにもバックナンバーを掲載しておりますので、是非ご一読ください。

監事会からのご報告

平成三十年七月二十日第四回監事会で次の案件について協議し承認決定されました。

一、全国監査機構監査について

七月十七日～二十日に実施された全国監査機構監査の相当性について協議され承認されました。

「たいせつ」のあゆみ

8月

8月1日　企画会議
8月5日　年金友の会合同パークゴルフ大会
8月18日　第10回田んぼアートフェスティバル
8月31日　第6回理事会

生産資材課からのお知らせ

農薬の返品について

病害虫防除終了後の余った農薬につきましては、９月 14 日 (金) までの返品をお願いいたします。

これから使用される農薬につきましては、使用終了後の返品で構いません。

※有効期限が過ぎている物や汚泥品、破損・開封済み等の農薬につきましては、返品を受けることが出来ませんので予めご了承ください。

毒劇物の購入の際には、必ず印鑑をご持参頂きますようお願いいたします。

皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

※生産資材課　本　　所 ☎57-2357
鷹栖支所 ☎87-4111

第５回 法律相談日のご案内

ＪＡでは、農地の売買・相続等に関する問題や、その他日常における法律問題について相談いただけるよう顧問弁護士による法律相談日を定期的に設けておりますので、事前にご予約の上お気軽にご利用ください。

◦**相談日時**　平成 30 年９月 14 日（金）　午後３時から午後５時

◦**相談場所**　本所事務所　２Ｆ研修室

◦**弁 護 士**　田代 耕平 氏（札幌総合法律事務所）

※**お問い合わせ先**　本所　営農部営農支援課　☎ 57-2357
支所　鷹栖支所営農施設課　☎ 87-4111

ＪＡたいせつ広報誌　ひろばたいせつ
2018/９月号　第187号

発行　たいせつ農業協同組合
〒071-8101　旭川市東鷹栖１条３丁目635-53
TEL0166-57-2311

印刷　㈱総北海